

英語英米文学科

英語プラスαのチカラ

～英語を学ぶその先にある選択肢～

秋元教授: そういえばこの前授業でオーストラリア総領事の講演があったけど行った？

Pちゃん(3年): 行きましたよ！ 外国で勉強することが自分の世界をいかに広げてくれるか、よくわかるお話でした。私は秋からアメリカ留学が決まっているけど、オーストラリアもいいなあって思っちゃいました。

秋元教授: 甲南は留学を強力に推進していて、3か月から1年までいろんなプログラムがあるからね。留学に行く学生の率も高いし。

Yくん(3年): ばくの友だちもみんな留学行っちゃうからね。

Iくん(4年): 留学行かなくても学内でも留学生と交流する機会はいっぱいあるねん。

Yくん(3年): ちなみに、留学行くんやったらTOEFLのスコアいるやろ？

Pちゃん(3年): うん。私はiBT60点くらい。

Yくん(3年): おー、すごいやん。留学じゃなくても英語英米文学科はTOEICで600点取らな卒業できひんからな。ばくもたぶん次で600行くとする。

Pちゃん(3年): 私は目標700。

Iくん(4年): 俺はもうちょいで900。今度学生主催で「甲南英語サミット」っての開くからよかったら来てな。

Yくん(3年): I(4年)さんが企画したやつすよね。

Iくん(4年): うん。やっぱ、英語ができる子って時間もお金も英語に投資してんねん。できる人がどれだけ勉強したか具体的に知ってから俺も800点越えたい。でも、なかなか他人の努力してる姿って知れへんやん？ だから1回生、2回生全員集めて、情報を先輩から共有したいなって。実際に英文科に800、900越えは普通におるしな。

秋元教授: こういう企画が学生から出てくるってのが嬉しいね。先生たちもみんな協力するよ。今年から着任されたアンドリュー・マーティン先生のトークも聞けるしね。ところで専門の英米文学、言語学の方はどう？

Cさん(1年): 「英米文化文学入門」で今度作家の福永信さんの講演があるんですよね？

秋元教授: うん。文学について教室で学ぶのも大事だけど、文学って実際に「いまここ」にあるものなんだったのを学生に見せてあげたいと思って福永さんをお願いしたの。

Yくん(3年): 実際の作家に会える機会なんてあんまりないっすから気になります。

秋元教授: 公開でやるからYくんもおいでよ。絶対おもしろいよ。Iくんは言語学系のゼミだけど卒論の準備進んでる？

Iくん(4年): はい、僕は統語論をやっているんですけど、今年は4回生やけど大学院の授業も受けてます。

Pちゃん(3年): 大学院？

Iくん(4年): うん、ダフィールド先生とマーティン先生の授業を科目等履修生で受けてる。4年生になったら登録できるねん。入学当初は前置詞や形式意味論を勉強したかってんけど、1年の「英語学入門」を取ってから英語の構造(生成文法)熱い!! って思うようになって今のゼミに入ってる。「英語学研究」とかは学校では分らなかった英語のなぜ? が分かって楽しい。今は「タフ構文のforの役割」っていうテーマで卒論まとめようと先行研究の文献を漁ってる。言語学は数学みたいに一つひとつ説明せなアカンから、英文の誤読とかしたらアカンしね。毎回先生にアボ取って、自分の見解を確認してもらってる。教授と一対一で意見交換するから、オックスフォードのチュートリアル制度みたいで個人的には楽しんで卒論の準備してる。

Pちゃん(3年).Yくん(3年).Cさん(1年): す、すごい……

Iくん(4年): いやあたいしたことないで。それくらいみんなするで(ニヤリ)。

秋元教授: Iくんはかなり順調な感じやね。もちろんそうじゃない学生もいるけど、学生生活の集大成になる卒論だから、人に書けない自慢できる論文を書いてほしいな。

Cさん(1年): あたしもがんばろう！

Pちゃん(3年): あたしは1限遅刻しないようにがんばろう(笑)！



派遣留学生、受入れ留学生数とも学内No.1、国際化が一番進んでいるのが文学部です！

長期留学では、「交換留学」をはじめ「語学プラス奨励留学」・「奨励留学」の3つの留学制度、また短期留学では、短期留学体験型集中科目の「エアスタディーズ」、また海外語学講座といった期間や目的に応じた数多くの留学プログラムが用意されています。文学部の学生も、英語英米文学科の学生を中心に、多数の学生が留学を経験しています。英語力を伸ばすだけでなく、現地での経験を将来の仕事に結び付けたり、語学を学ぶことの重要性に気づいたり留学から得ることが多くあります。

M.Kさん ビクトリア大学(カナダ)9か月の交換留学

さまざまな国々の人々と交流したいという理由で多文化社会であるカナダを留学先として選択しました。クラスには、アジア各国からの留学生も多かったです。授業進度の速さに加え、課題の多さには何度もくじけそうになりましたが、それらを乗り越えたことで、帰国後は自信をもって勉学に励んでいます。



文学部は、派遣留学生、受入れ留学生数とも学内No.1

留学種別内容	文学部(全人数)	全学に占める割合(%)
長期派遣 留学(主に交換留学)	52人(107人)	48.5
短期派遣 留学(エアスタディーズ)	12人(43人)	27.9
短期派遣 留学(海外語学講座)	20人(81人)	24.7
長期受入 留学(私費留学生含む)	36人(58人)	62.1

(2014年度実績)